



<https://www.printo.it/pediatric-rheumatology/TW/intro>

多发性肌炎(MDK)(抗IgD抗体)

概要

1. 概要

1.1 定義

多发性肌炎(MDK)は、筋力低下を特徴とする慢性炎症性筋疾患である。診断には、臨床症状、筋生検、血清学的検査(抗IgD抗体)の組み合わせが重要である。抗IgD抗体は、MDKの診断に有用な血清学的マーカーである。

1.2 診断

MDKの診断には、筋力低下、筋生検での炎症性浸潤、血清学的検査(抗IgD抗体)の陽性結果が重要である。抗IgD抗体は、MDKの診断に有用な血清学的マーカーである。

1.3 治療

MDKの治療には、免疫抑制剤(ステロイド、免疫抑制剤)の使用が重要である。MVK(多发性肌炎)の治療には、免疫抑制剤(ステロイド、免疫抑制剤)の使用が重要である。

1.4 予後

MDKの予後は、治療の反応性に依存する。MVK(多发性肌炎)の予後は、治療の反応性に依存する。1:4

1.5 参考文献

参考文献: [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10]

2.4

prednisolone anakinra
a

2.5

2.6

2.7

2.8

2.9

2.10?

2.11

3.

3.13

3.2

3.3

3.4

3.5

3.6

3.7